



まつした 浩 明 松下ひろあき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

いちごの生産拡大を目指して

ジャマンボタニシの被害を防げ!

山武市選出で、県議3期目を務める松下浩明(まつした・ひろあき)県議は、新年度予算案を審議する2月定例県議会の一般質問に登壇し、地域の農業問題、道路問題などを取り上げました。松下県議は、この中で外来種のジャマンボタニシによる稲の被害を食い止めるための対策や、地域で盛んないちご栽培の積極的なPR戦略などを求めました。また、道路問題では県道飯岡一宮線の木戸川にかかる緑海橋が、新年度から着工予定であることなどの新たな進捗状況も明らかにしました。

松下県議は、今議会の閉会後に議員を辞職する予定で、約10年間の県議会活動に終止符を打つことになりました。そこで、松下県議の最後の本会議場での一般質問を詳細にお知らせします。



本会議場に登壇した松下県議

2月県議会一般質問に登壇

私は、昨年6月議会でもジャマンボタニシについて質問し、県内の被害状況について把握するとともに、地域での防除対策が図られるよう、県が中心になって関係機関などへ働きかけるよう要望したところです。

そこで伺います。県内におけるジャマンボタニシの発生及び被害状況はどうか。

農林水産部長 昨年5月の定県調査で被害株率が平年を大きく上回ったため、一斉調査を実施しま



した。この結果、9農事業務所の26市町村でジャマンボタニシの発生を確認しました。被害面積は68ヘクタールと、過去最高だった28年の92ヘクタールからはやや低下いたしました。

松下議員 ジャマンボタニシの被害軽減に向け、更なる対策が必要と思うがどうか。

農林水産部長 被害軽減には、水田の防除対策と併せて、水路での発生拡大防止が重要です。このため、泥上げが有効ですが、効果

の確認や貝の再侵入防止対策の確立が必要です。来年度、水路の防除対策確立に向け、モデル事業を実施したいと考えています。さらに、効果の検証を行い、マニュアルを作成し、地域ぐるみで防除対策につなげてまいりたいと考えています。

要望 ジャマンボタニシの被害を減らすため、県と地域が協力し、事業に取り組んでいただくとともに、水路での駆除対策が速やかに普及定着するよう要望します。

いちごのPR要望

松下議員 本県の「いちご」生産は、直売や観光摘み取りなどで、近年、産出額が伸びている有望な品目です。私の地元・山武市のいちご園も観光摘み取りなど、県内外から来る大勢のお客様で賑わいを見せております。

また、昨年から販売が開始された、県が育成した新品種「チーバベリー」も人気を博していると聞いています。ぜひ、県としてもこの機会をとらえ、いちご生産の拡大を加速させるため、生産力強化に積極的に取り組む、さらなる認知度の向

上と地域活性化のため、引き続きPR活動を進めて欲しいと思います。

そこで、県は、いちご産地の生産力強化に、今後どのように取り組むのか、伺います。

農林水産部長 いちごは本県の園芸作物の中でも、収益性が高く、若い担い手が毎年参入し、規模拡大に取り組みする生産者が増加しているなど、今後も算出額の伸びが期待できる重要な品目です。

このため県では、新「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業によるハウスの整備

今後は、産地パワーアップ事業などの国の事業の積極的な活用や、県事業の予算増額により、意欲ある農業者の施設整備への支援を強化し、担い手の規模拡大の加速化を図るとともに、チーバベリーの生産拡大に向け、詳細な栽培マニュアルの整備に、いちご生産団体等と連携して取り組むなど、二層の産地の生産力強化に努めてまいります。

要望 今後とも、いちごOPRについて、県と市町村、生産者、地域の観光関係者、事業者が一体となって積極的に進めていけるよう、要望します。

●山武市と県政についてのご要望をお寄せください。

松下ひろあき 県議事務所

〒289-1223 山武市埴谷1867-35 TEL-FAX0475-89-0718

■松下ひろあき公式ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

緑海橋の歩道整備は新年度着工へ

道路問題で強く要望

成東駅南口線

松下議員 次に道路問題について伺います。

JR成東駅南口では、駅前広場を山武市が、駅前広場から国道126号までを県が街路事業で整備しており、県と市で連携を図りながら、道路整備を進めていただいております。

緑海橋の歩道整備

県の街路事業で整備している都市計画道路成東駅南口線は、昨年度には用地取得が約4割と答弁いただいておりますが、駅前広場整備が大きく進捗している中、早期の整備が望まれています。

さんむ都市計画道路3・4・3号成東駅南口線の進捗状況はどうか。



自席から再質問に立ち上がる松下県議

松土整備部長 成東駅南口線は、駅前広場から国道126号までの0・3キロ区間でバイパス整備を進めています。現在、用地取得を進めており、進捗状況は面積ベースで約6割、またまった用地が確保できたことから、来年度から工事を実施する予定です。

木原地先の歩道整備

松下議員 県道成東西々井線の山武市木原地先の歩道整備ですが、緑海橋と同様に、歩行空間が確保されていないところであり、交通量が多いため歩行者が危険な思いをしております。特に朝夕の通学時間帯では、児童生徒の安全が確保されているとは言えません。このため、平成22年度から歩道整備に着手している

下大蔵地先の進捗

松下議員 山武市内の一般県道成田成東線は、国道126号と一体となり、地域の生活を支える重要な道路です。しかしながら、主要地方道千葉八街横芝線から国道126号を結ぶ区間は、復員が狭く、線形も屈曲しており、道路整備が不可欠であると認識しています。

松土整備部長 当該箇所は通学路に指定されており、延長600メートルの歩道整備を実施しております。これまでに約240メートルの整備が完成し、用地進捗率は約60%です。今年度は、用地取得済の約120メートル区間の詳細設計を実施しており、今後とも地元協力を得ながら事業の推進に努めてまいります。

ICTの利活用戦略

松下議員 通信技術、いわゆるICTの利活用について伺います。「モノのインターネット」いわゆるIoTや、「人工知能」いわゆるAIを含むICTの戦略的な活用について、9月県議会の私の代表質問でも取り上げ、「将来を見据えてしっかりと取り組んでいただきたい」と要望させていただきました。

総合企画部長 飛躍的に進展するIoT、AIなどの先端技術や、それらを介したビッグデータの収集・解析などのICT関連技術は、人口減少・少子高齢化などの解決や新たな付加価値の創出を効果的に推進するものとして、大いに期待されています。

このため、策定予定の「仮称」千葉県ICT利活用戦略」では、研究開発支援や人材育成、行政サービスの向上など、自立的に施策推進できるような仕組み・環境づくりを進めてまいります。

高校の入試改善検討

松下議員 県立高等学校の入学者選抜は、多くの中学生、保護者の皆様にとり、非常に大きな関心事であり、そのあり方については、それぞれの希望が叶うよう、学校が取り巻く諸情勢の変化も踏まえながら、不断に検証し、改善を図っていく必要があると考えます。

今後、県民からいただいた意見を踏まえ、改善方針を決定してまいります。

今後、新しい制度の実施に向けて、より良い制度となるようしっかりと検討していただくよう要望します。

33年度から前期・後期を1回に

高校の入学者選抜

松土整備部長 当該箇所は通学路に指定されており、延長600メートルの歩道整備を実施しております。これまでに約240メートルの整備が完成し、用地進捗率は約60%です。今年度は、用地取得済の約120メートル区間の詳細設計を実施しており、今後とも地元協力を得ながら事業の推進に努めてまいります。

松土整備部長 当該箇所は通学路に指定されており、延長600メートルの歩道整備を実施しております。これまでに約240メートルの整備が完成し、用地進捗率は約60%です。今年度は、用地取得済の約120メートル区間の詳細設計を実施しており、今後とも地元協力を得ながら事業の推進に努めてまいります。

松土整備部長 当該箇所は通学路に指定されており、延長600メートルの歩道整備を実施しております。これまでに約240メートルの整備が完成し、用地進捗率は約60%です。今年度は、用地取得済の約120メートル区間の詳細設計を実施しており、今後とも地元協力を得ながら事業の推進に努めてまいります。